



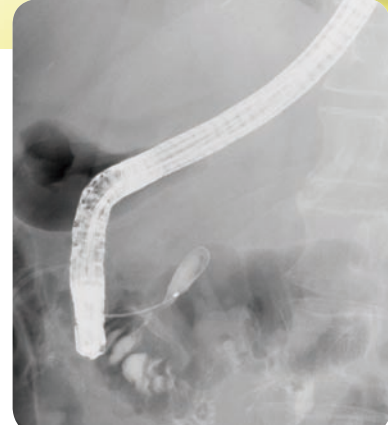
Dreamwire™

福井大学医学部附属病院 光学医療診療部
山崎 幸直 先生

Dreamwire™は、先端をシャフトで押すと容易にα形のループを形成し、またそのループを押し込むシャフトのプッシュビリティが高いという2つの特徴がある。これにより、Dreamwireは優れた狭窄突破性能を発揮している。

先端軟性部は10cmと長く、他のガイドワイヤーと比べてより手元に近い位置でループを大きく形成する。これにより大きく形成されたループの背で狭窄部に接しながら、より強い力で押し込むことができるため、安全かつ効率的に狭窄部を突破できる。また、狭窄部上方の胆管走行の見極めが難しい場合、先端軟性部を「トグロ」状にたわませて圧力が逃げる方向を見定め、狭窄突破のきっかけをつくるのが良くある。この方法は、長い先端部でたわみを大きく形成し、胆管壁の広い範囲で圧力を加えることができるため、狭窄の突破部を効率よく見つけ、また愛護的に強い力を加えることができる。

Dreamwireはその狭窄突破性能に加え、シャフトには適度なコシを備えているため、広範な処置具のデリバリーも十分に行える。当院では狭窄症例と結石症例をほぼ1:1の割合で経験するが、結石症例においても十分対応可能である。特に、巨大結石や積み上げ結石症例の際には、狭窄突破時同様の特長が有意に発揮されることがある。そのため、当院ではDreamwireを胆膵内視鏡診療に用いるガイドワイヤーのファーストチョイスとして位置づけている。



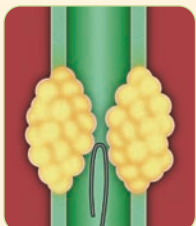
透視画像：α形のループを描いた狭窄部へのアプローチ



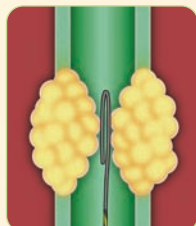
透視画像：先端軟性部を用いて狭窄突破のきっかけを作る

αループを形成する先端デザインにより狭窄突破性能が向上

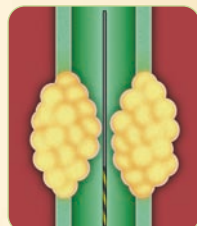
Dreamwire™



ドリームワイヤーの先端部は通過障害に接すると速やかにループを形成します



αループを形成した先端部は適度なプッシュビリティにより狭窄部へ押し込まれます



スムーズに狭窄部を突破し、その後の ERCP 手技のためのアクセスを確保します

販売名：ドリームワイヤー
医療機器認証番号：221ABBZX00240000

